

# 藤川 治水(特別賞)



## 概要

氏名 藤川治水(ふじかわちすい)

本名(ふじかわはるみ)

職業 映画評論家

熊本大学映画文化史講師

住所 熊本市島崎七丁目一九一五

電話番号 〇九六一三五三一〇三八

主な活動地 熊本市

所属団体 理想の科学研究会会員

日本映画ペンクラブ会員

著書 「英語地方論」(熊本風土記発行所)

子ども漫画論(三一書房)

「熊本シネマ」巻談(青潮社)

「映画」の百年(熊本大学・共著)

「エカ先生と仲間たち」(熊本出版文化館)

その他 京都賞映像部門選考委員等

## これまでの活動歴

- ・昭和三十四年 第一回映画評論賞受賞
- ・昭和四十年 熊本で戦後初の無声映画鑑賞会開催
- ・昭和四十二年 第九回熊日文学賞受賞
- ・昭和四十四年 県民映画「あつい壁」製作に携わる
- ・昭和五十三年 詩と真実特別賞受賞
- ・昭和五十四年 第十四回熊本県文化懇話会新人賞受賞
- ・昭和六十二年 「熊本シネマ考談―象牙の塔―秘聞」公演に脚本執筆
- ・昭和六十二年 熊本大学「映画文化史」の講師となる
- ・平成五年 笠智衆追悼映画会開催に携わる
- ・平成七年 全国興業環境衛生同業組合連合会功労賞受賞

教職時（昭和二十八年四月初任。昭和六十一年三月、市立常山中学校を退職）より映画に対して計り知れない情熱を燃やし、明治三十年代頃の熊本活動写真界の初期の状況、常設館や当時の関係者の声などが踏み込まなかった熊本映画史の分野を丹念に調査、記録をされた。そして興味深く紹介されてきたことは文化史的、風俗史的に意義深い。

また、このような経験を生かして「くまもと映画手帖」の寄稿並びに編集活動（昭和三十六年～平成五年）、自主上映運動や脚本を手掛ける。昭和四十四年には、ハンセン病差別問題を取り上げ、各地で反響を呼んだ県民映画「あつい壁」の製作実行委員会の中心メンバーの一人として奔走するなど熊本の映画活性化のため誠心誠意尽くされている。

現在は、熊本大学の「映画文化史」講師や幅広い層から親しまれている熊日新聞の映画欄「シネマ散歩」など執筆の傍ら、県内に限らず全国各地をエネルギッシュに飛び回っている。「私を育てたのは生徒であり映画である」と本人が語るように、映画活動に対する活力も、教師生活で出会った生徒たちや社会情勢の著しい変化の中で映画に携わっている仲間たちとの出会いから湧き出ているのではないだろうか。そして、多くの人と情報を交わし、映画文化のネットワーク化に目下取り組んでいる。熊本という地方にこだわりながらも全国、いや世界をとらえた総合的な研究に全力を注がれている。まさに、熊本映画文化の第一人者であると言える。映画評論活動四十年を迎えた藤川氏は、映画百年の歩みを追いつき抜く勢いで今日もバイタリテイに溢れている。